

# 平成20年度 子どもたちの「生きる力」を育む集い



## 新学習指導要領の求める確かな学力とは

11月4日(火)午後、こまつドームにて、小松教育事務所管内3市1町の関係者約200人が実践報告やパネルディスカッションを通して、「新学習指導要領の求める確かな学力」への理解を深めました。

平成21年度からは、「新学習指導要領への移行期間」ということもあり、特に、保護者の皆様にも学校関係者と共にその方向性を理解して頂きたいという思いから、このタウンミーティングのテーマにしました。



### 実践報告

#### 【荒屋っ子の確かな学力の向上をめざして】

～基礎・基本の定着とPISA型『読解力』の育成～

発表者 小松市立荒屋小学校 林 真理恵 教諭

アドバイザー 野川 徹 校長

羽咋小学校校長 野川 徹 様 から多くの示唆を頂きました。

- ①わかる授業＋楽しい授業＝活用力をつけていく。
- ②学び合う集団作りの大切さ
- ③自分の考えをわかりやすく書いたり、説明したりする力を鍛えていくことが大切。
- ④小学校では活用力に関する自作テストを作成するとか、中学校では活用力に関する問題を定期考査に一題は入れていくといったことも一つの方法である。
- ⑤問題の意味が分からず無回答になる子もいるので、ご家庭でも新聞やテレビのニュースなどを通して、「読み取る力」を伸ばしてあげてください。

<21世紀をたくましく  
生きる子を育てるために>

- ★見える改善された授業
- ★家庭への働きかけ



## パネルディスカッションで実践の交流を行う



### パネリスト

- ※ 坂口 順一 (加賀市立錦城中学校)
- ※ 藤田 信宏 (小松市立安宅中学校)
- ※ 川場 郁美 (能美市立福岡小学校)
- ※ 東 美津子 (川北町立 橘 小学校)
- ※ コーディネーター 横関 達人 (指導主事)

### ★参加者からの「意見

◆ 今回の内容は「学力」のことに終始しており、「生きる力」を育むとは何かを考えさせられます。学力だけでなく、もっと広い意味で「生きる力」をとらえ、議論する必要があると思います。

◆ 現在、話題となっている学力状況の結果を教員以外のPTA等にも知らせ、その具体的な学校の取組を紹介することは大変、貴重な機会であったと思う。機会があれば、校区のPTAの会合でもこのような会ができればと思う。